**２０２１年度関東学生ハンドボール春季リーグ戦ガイドライン**

**（出場大学、オフィシャル担当大学、会場管理大学用）**

**◎春季リーグ開催について**

１、例年通り1回戦総当たり制のリーグ戦形式（女子1部は１回戦総当たりの後、上位・下位に

分かれリーグ戦形式）で行う。入替戦は例年通りの方式で行うが、何かしらの事由で代替と

なったリーグ（部）は、該当部の上位とのリーグ戦は行わない。ただし、該当部の下位との

入替は自動入替を含め入替戦を行う。

２、期間は4月から7月第1週の期間とし、入替戦は7月第2週をめどに行う。

３、春季リーグ戦は密を避けるため無観客試合で行う。

　　各大学で、ＯＢ・ＯＧや関係者、保護者にはキチンと連絡しておく事。

３、各大学の試合会場への入場人員は、関東学連に登録された者のみで、役員＝当日試合のベン

　チ登録予定で６名以内、選手部員＝２４名以内で、最大限合計で３０名以内とする。

また、各大学の大学スポーツ新聞取材がある場合は、各部主務が前日迄に　所属、氏名、住所、電話番号を所属部委員長に連絡すること。この場合、記者１名、カメラマン１名を認める。

４、延期及び中止の判断は次の通り。

　 ① リーグ戦期間中に「緊急事態宣言」「自粛要請」等が発出された場合は、リーグ運営委員会で中止又は延期を検討する。

　 ② リーグ期間中に新型コロナウィルス陽性感染者が発生した場合、とりあえず該当試合は延期とし、安全管理委員会で検討し該当大学に指導を行う。

また、陽性感染者が発生した大学は、大学当局、管轄保健所、学連事務局に、速やかに

連絡をする事。

**◎春季リーグ試合参加大学**

１、各大学とも平常時からこまめな手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク着用を励行し検温

を行い記録する事。

２、体調の悪い者、37.5度以上の発熱がある者は、自主的に練習・試合参加を見合わせる事。

　また、かかりつけ医の指示に従うこと。出来ればPCR検査を受けることが望ましい。

３、リーグ戦前にコロナ陽性患者が出た場合は、大学当局、管轄保健所、関東学連事務局に速や

かに必ず連絡をする事。また、リーグ戦期間中に発生した場合も同様である。

４、試合会場が遠方の場合、個人の車や大学ごとにバスで来ることを推奨するが、公共交通

機関で来る場合はマスクを必ず着用、少人数に分かれて移動し会話は少なめで大声は出さな

　いこと。

５、試合会場には各大学でアルコール消毒液を持参し、入場時、帰宅時に必ず消毒すること。

また、受付に非接触型体温計を用意するので、体温を測ること。37.5度以上の発熱がある者

　は少し時間をおいて再検温し、再度37.5度以上となった者は、試合会場には入らないこと。

　その者は人との接触をできるだけ少なくして公共交通機関利用は少なくして帰宅し、医師の指示に従うこと。

６、各試合会場には、出入構時間の制限や使用不可区域があるので注意すること。

　①、各会場とも、更衣室、シャワー室は原則として使用禁止とする。

　　更衣は観客席の端やキャットウォークなどで目立たないように着替え、荷物はチームごと

にまとめてください。

なを、女子２部で更衣室を使用する場合は、他大学と密になることを避け、速やかに更衣し

退出、長時間長居しない。また、試合終了後も同様で、各大学で使用区域をアルコール消毒

して退出する事。更衣室での飲食は認めない。

　②、飲食の注意：各会場ともに更衣室以外での飲料はOKですが、食事は固く禁じます。

試合時間の関係で弁当など食事する場合は、会場外でお願いします。また、食べ残しなどは

持ち帰って下さい。

７、試合前後のミーティング等は、密を避け行い大声は出さない事。

８、各試合ともアップは外でお願いします（二足制）

原則、試合と次試合の間隔は換気のために１時間程度あけることが望ましいが、会場使用

時間の関係で出来ない時もあるので出来る範囲で長く開ける事とする。

1. 、室内アップが可能なのは試合開始３０分前からです。
2. 、第２試合以降のチームは、前試合のハーフタイムでのコートアップは出来ません。

③、 雨天で外アップできない時は、各会場担当者の指示に従ってください。

９、各試合共に開始30分前にトスを行う。この時にメンバー表、選手・役員証、役員・選手の２週間分の健康チェック表、ユニフォームを持参する事。

健康チェック表の提出がない大学は、試合参加を認めないので注意する事。また提出された健康チェック表は、試合終了後、記録用紙と共に受け取り持ち帰る事。なを、2日連続試合がある場合は健康チェック表提出の必要はないが、会場責任者や係員に提出を求められる場合があるので、主務がまとめて持参管理しておく事。

また、各大学で試合終了後、2週間は保存しておく事。

10、試合中のベンチ配置は、役員、選手各人の距離をある程度保って着席の事。

11、試合中のベンチ控え選手、役員は、出来るだけマスク着用する事（頻繁に交代する選手は

この範囲ではない）　また、ベンチ内大声を出したり複数人ベンチで立ったりしない事。

得点時のハイタッチ、肘タッチなども禁止。出来るだけ接触を槎けること、（規則通りベンチで立って指示を出せるのは役員１人のみ）

12、タオル、スクイズボトルは共有・使いまわしはせず、各個人用とする。

13、前半終了後、両チームは、持参のアルコール液にてベンチをきれいに消毒して移動、試合

終了後もベンチの消毒を行い速やかに会場を退出する事。

14、試合該当チームで、ベンチ入り以外の部員・選手（最大限８名）は、ベンチ反対側のサイド

ライン近くでの応援は可能であるが、マスク着用で声などは出さず静かに応援の事。

また、部員同士の距離を保つこと。

15、ゴミ類は各大学で回収し、キチンと地元まで持ち帰ること。特に鼻水、唾液などが付いた

ゴミはビニール袋に密封して持ち帰ること。途中のコンビニや交通機関のゴミ箱などに廃棄しない事。

**◎、各会場管理責任大学、本部学連委員、各部委員長、学連委員、オフィシャル担当大学**

１、開催日当日、管理責任者、本部学連委員、各部委員長を中心に綿密な打ち合わせをする事。

２、各試合会場管理責任者、各部委員長、学連委員、オフィシャル担当は必ずマスクを着用。

　　※オフィシャル担当大学は、学連で用意しているフェイスシールドやマスクを着用する事。

３、出来るだけ早く会場入り口に受付を準備し、アルコール消毒液、受け付けリストを用意、

入場時の受付チェックを行い、事前登録者及び団体以外は絶対に会場内に入れないこと。

また、用意してある非接触型体温計で入場者をチェック、37.5以上の熱がある者は、暫く

時間をおいて再検温する。再度37.5以上の熱があった場合は帰宅を願うこと。

特に顔パスで来る人がいるので、登録者以外はいれないこと

※受付は、各大学で交代して行うこと

４、オフィシャル担当は必ず個人で筆記用具、ホイッスルを持参し、使い回しはしない事

５、オフィシャル（モップ担当）は、試合前、ハーフタイム、試合終了後の床掃除をこまめに

行う事。

６、オフィシャルは、メンバー表と一緒に提出された健康チェック表30人分をチェックし、

異常がある者がいた場合は本部学連委員に報告する事。

なを、特に問題なければ、試合終了後にスコアシートと一緒に返還のこと

健康チェック表の提出がない大学は試合ができない。

７、試合間の選手の出入りをきちんと管理し、密にならないように気を付ける事。

また、ハーフタイム、試合後など換気が行える会場は、こまめに行う事。

８、前半終了後、試合終了後に各大学がベンチ消毒を行っているかチェックする事

９、会場各所のチェックを怠らず、上記事項が守られているか確認する事

10、三密をできるだけ避け、各大学で気づいたことは励行して下さい。

以上